

(2026年3月号掲載)

群馬県内自動車部品サプライヤーの動向

群馬経済研究所主任研究員 櫻澤広祥

調査のポイント

県内の主要産業である輸送機器製造業を支える自動車部品サプライヤーに対し、足元の業績、経営課題とその対応について調査した結果をまとめた。

要約

- 県内自動車部品サプライヤーの2025年度の業績は、受注数量の減少を主要因とする売上減少、製造原価上昇による採算悪化となった企業が多くみられた。
- 自社の経営課題については、「自動車産業以外の新規販路拡大」が最も多く、「価格転嫁、納期の交渉力強化」「人材の採用・育成・定着」と続いた。多くの企業が課題に対応していたが、「人材不足」を理由に未対応の企業もみられた。
- 今後の方針としては、「販路拡大」によるリスク分散、原価のみならず労務費上昇分も含めた「価格転嫁」、品質向上や高付加価値品へのシフトによる「採算改善」が挙げられた。